

山梨県歯科医師連盟 連盟ニュース

第 22 号

発行 山梨県歯科医師連盟
山梨県甲府市大手1-4-1
TEL055-252-6481
発行人 内藤敏雄
編集人 守屋直木

山梨県歯科医師連盟機関紙

参議院議員選挙を

終えて

内藤 敏雄

去る7月11日投開票が行われた「第22回参議院議員選挙比例区」に於いて、日歯連盟が全面支援した民主党公認の西村正美氏が当選を果たしました。

得票は一〇〇九三三票。山梨県内の得票は一〇六六票でありました。この結果、西村氏は民主党比例区公認候補者45名中16位でありましたが、同党の比例区当選者が16名であったため最下位にすべり込むという、まさに薄氷を踏む勝利でありました。

この数字は3年前の参院選の石井みどり氏の得票二二八一六五票の半分にも満たない数でありましたが、その点は今後検証してみる必要があると思いません。

しかし、今回の参院選比例区に於いては、各種業界・労働組合等の組織候補は軒並み前回の参院選と比べ得票を減らしており、その中で唯一自民党より立候補当選した看護連盟の組織候補が、前回の得票を上回ったのみでありました。

また、西村氏の支援が正式に決まったのが3月19日の日歯連評議員会であり、県歯連もそれを受けて、3月27日の理事会で西村氏の支援を決定し、後援会づくりを始めましたので、実質3ヶ月の運動期間しかなく、前回の石井選挙に比べ、約1年のハンディがありました。

そのわずか3ヶ月で、無名の新人の名前を会員に浸透させ、更に最終的に、その名前を投票用紙に書いてもらうまでもってくるのは、大変な苦勞でありました。これは、先生方が、この選挙がもつ重要性を理解してご協力いただいた結果と、感謝しております。まさに、3ヶ月という期間を考えれば、この結果は評価できると思えます。

また、西村氏は、今回比例区で与党民主党に於いて、唯一の医療界の当選者であります。この点は、前回の石井氏が当時の与党自民党で唯一の医療界からの当選者であったことなどを考え併せると、歯科界の力を政界に曲がりなりに示すことができ、大いに意義があったと思えます。特に、2年後に行われる診療報酬改定と介護保険の同時改定で、歯科の立場を与党

(民主党)内で主張する足場を築くことが出来たと考えられます。

西村氏には、今後は与党の一員として、選挙中に訴えていたように、我々開業医の代弁者として、国政の場で声を上げてもらいたいと思います。また、日歯連としても全面的にバックアップしていくと思いますので、私も機会があれば日歯連評議員会などで会員の声を伝えていきたいと思っております。また、石井みどり氏についても、現在では野党の立場で頑張ってもらいたいと思っております。

最後になりましたが、今回の選挙戦で、支援者名簿集め・励ます会への出席・動員、また投票依頼等、その都度先生方にご協力いただきましたことに対し、厚く御礼申し上げます。

関口氏当選・島田氏惜敗

埼玉選挙区同窓対決

参議院議員選挙埼玉選挙区(定員3名)に、関口昌一(自民)、島田智哉子(民主)の両会員が立候補したが、関口氏は六五五〇二八票でトップ当選、島田氏は五四四二八一票を獲得するも次点となり、明暗を分けた。

今回は民主党が同選挙区に2名を擁立したため、自民・公明の現職に次いで、最後の議席を同じ民主党の大野元裕氏(中東問題評論家)と争う結果となり、競り負けた。

当選した関口昌一氏は57歳。当選3回。城西歯科大学卒業。埼玉県議、外務政務官、参院文部科学委員長を歴任している。

歯科医師国会議員

6名に

今回の参院選で当選した、関口昌一、西村正美両氏を含め、現有の6議席は維持したものの、埼玉選挙区で島田智哉子氏の落選により、目標とした7議席達成はならなかった。

歯科医師国会議員

【衆議院】

川口 浩 民主党・北関東比例区

水野 智彦 民主党・南関東比例区

【参議院】

大久保潔重(民主党・長崎選挙区)

西村 正美(民主党・比例区)

関口 昌一(自民党・埼玉選挙区)

石井みどり(自民党・比例区)

輿石東氏 3選

山梨選挙区

参議院議員選挙山梨選挙区は、現職・新人5名による戦いとなり、県歯連盟推薦の民主党公認で現職の輿石東氏(74)が、同じく県歯連盟推薦の自民党公認で新人の宮川典子氏(31)を、わずか三七四五票差の大接戦の末にふりきって当選した。

選挙戦は当初、組織力・知名度で優る輿石氏が有利に進んでいたが、終盤に宮川氏が猛追するも、惜しくもあと一歩手が届かなかった。

これで本県は、昨年の衆院選以降、岩手・滋賀とならび、自民党国会議員がゼロの状態が続いている。ちなみに

岩手・滋賀両県議会では、自民党系が過半数割れの状態だが、本県では県議会において自民党系が過半数の勢力をもっており、県歯連としては、当面は民主・自民両党とは等距離の対応をしていくことになる。

関東地区歯科医師連盟

役員協議会が開催

平成22年度関東地区歯科医師連盟役員協議会は、7月22日、ホテル東京グリーンパレスにて開催されました。例年ですと、歯科医師会と同一会場で、同一スケジュールで行っていましたが、今年度は当番(県)である東京都歯科医師連盟の強い意向で、会場を別にしての開催となりました。

来賓として、堤直文日歯連会長、村田憲信日歯連副理事長、石井みどり参議院議員、西村正美参議院議員が招かれました。

協議会では冒頭、先日の参院選で当選した西村正美氏が挨拶し、選挙の御礼と今後の決意を述べられました。また、その後挨拶に立った石井みどり参議院議員も、党派を超え西村議員と歯科界のため連携していく旨の発言があり、出席者を安心させました。

その後、協議事項である「今後の民主党と自民党との対応について」各県より発言がありました。どの県も、議会が中央と地方でネジれているため苦心しているように見えました。また、当日の発言を基に、当番(県)の東京都歯科医師連盟が要

望書を集め、日歯連盟に提出することとなりました。

その後講演が行われ、歯科医師であり以前テレビ朝日の「サンデープロジェクト」にも出演していた、東京財団研究部ディレクター・上野研究員の渡部恒雄先生による「新しい世界と日本」の講演がありました。

《本県の発言要旨》

今回の参議院選挙の結果、再び衆参ねじれ状態となったことから、民主党政権の基盤は盤石ではなくなりましたが、民主党中心の政権は続くと思われる。したがって、日歯連としては、歯科界出身の民主党国会議員を通じ、民主党としっかりした政策提言のためのルートを築く必要がある。特に、党内に復活する政策調査会の中に、歯科に関するプロジェクトチームのようなものを立ち上げよう、働きかけるべきである。

自民党については、将来の政権復帰も視野に入れ、日歯連は野党とさえども自民党内に我々の理解者を作ること。また、石井みどり議員も野党の立場でも出来ることがあるのでバックアップしていく必要がある。

山梨県では、昨年の衆議院選以降自民党国会議員がいなくなったが、県議会では自民党系が圧倒的多数を占めているので、県政関係においては、自民党県連とは今後も密接な連携は欠かせないことから、県歯連としては当面、民主・自民両党とは等距離のスタンスでいきます。

天空快潤

鶴田 好幸

歯科系議員について
過日の参院選から、すでに一ヶ月以上が過ぎました。

選挙の際は、諸先生方には多大なるご支援・ご協力を賜りまして、厚く御礼申し上げますと共に、担当地域の先生方には、何度か電話をかけてご迷惑をおかけしましたことを、この場を借りてお詫び申し上げます。この場を借りてお詫び申し上げます。この場を借りてお詫び申し上げます。この場を借りてお詫び申し上げます。

を果たした西村正美先生を含め、現在、国会議員として、自民党には石井みどり先生、関口昌一先生の2名、民主党には大久保潔重先生、川口浩先生、西村先生、水野智彦先生の4名の歯科医師が在籍しております。今後は、政党は違えどもこれらの6名の先生方には、国民の健康の維持・増進に、更にはQOLの向上に寄与するために、精力的に活動していただき、その結果として、歯科医療機関の経営基盤が安定化することを願ってやみません。

【第22回参議院議員選挙】 西村 正美 氏 得票数

会員数	獲得得票数	会員一人当たりの得票数	会員数	獲得得票数	会員一人当たりの得票数		
北海道	2,323	6,515.7	2.80	滋賀県	495	1,171.5	2.37
青森県	545	1,028.5	1.89	和歌山県	593	1,112.7	1.88
岩手県	654	1,076.3	1.65	奈良県	599	1,111.6	1.86
秋田県	365	499.0	1.37	京都府	1,147	1,699.4	1.48
宮城県	961	1,478.5	1.54	大阪府	4,755	6,180.0	1.30
山形県	494	1,124.8	2.28	兵庫県	2,754	3,759.3	1.37
福島県	892	1,538.2	1.72	岡山県	869	2,475.5	2.85
茨城県	1,247	2,561.7	2.05	鳥取県	277	186.0	0.67
栃木県	975	1,744.0	1.79	広島県	1,493	2,159.6	1.45
群馬県	769	1,514.9	1.97	島根県	267	285.1	1.07
千葉県	1,683	3,895.7	2.31	山口県	706	799.5	1.13
埼玉県	2,127	3,194.7	1.50	徳島県	323	1,268.7	3.93
東京都	6,794	9,515.5	1.40	香川県	461	154.1	0.33
神奈川県	3,122	5,965.4	1.91	愛媛県	681	1,503.0	2.21
山梨県	354	1,066.1	3.01	高知県	397	685.6	1.73
長野県	1,067	2,018.5	1.89	福岡県	2,272	3,915.7	1.72
新潟県	1,008	2,925.4	2.90	佐賀県	383	992.8	2.59
静岡県	1,306	2,906.6	2.23	長崎県	735	1,422.2	1.93
愛知県	2,789	6,683.5	2.40	大分県	588	1,086.2	1.85
三重県	686	1,371.5	2.00	熊本県	722	2,304.3	3.19
岐阜県	959	2,662.1	2.78	宮崎県	391	930.1	2.38
富山県	476	804.8	1.69	鹿児島県	476	1,198.2	2.52
石川県	528	1,361.6	2.58	沖縄県	326	406.3	1.25
福井県	272	672.3	2.47	計	54,106	100,932.7	1.87